

農林水産政策学 第5講

市場の失敗3: 公共財の存在

2016年5月18日

有賀健高

経済財と自由財

- 経済財

- 希少性があり、需要と供給のバランスが取れているかややバランスを欠いており、価格を有する財。
- 例：貨幣で取引がされているモノ全般

- 自由財

- 希少性がなく、需要よりも供給が圧倒的に上回っているため、価格を有しない財。
- 例：空気、太陽光、海水

資源

經濟財

自由財


私的財

公共財

自由財


非競合性と非排除性

- 非競合性(non-rivalrous): ある人の消費によって他の人の消費機会が減らない性質

 みんなで使える

– 例 道路はある人が利用しても他の人も利用可能。

- 非排除性(non-excludable): 費用を負担しない人の消費を排除できない性質

 みんなが使える

– 例 無料の公園はお金を払わなくても誰でも利用可能。

		排除性 (rivalrous)	
		あり	ない
競合性 (excludable)	あり	私的財 Private goods 食料品、自動車、住居	共有財 (準公共財) Common pool resources (quasi-public goods) 漁場、共有地、天然資源
	ない	クラブ財 (準公共財) Club goods (quasi-public goods) 高速道路、駐車場、ゴルフ場、映画	(純粋) 公共財 (Pure) public goods 国家防衛、灯台、知識、無料テレビ放送

(純粹)公共財

- 非競合性と非排除性の両側面を有する財
 - 利用者が増えても追加的な費用が伴わない(非競合性)性質と対価を支払わない者を便益享受から排除できないという性質(非排除性)を兼ね備えた財
 - 誰かが使っても他の誰かが使えなくなることがなく(非競合性)(みんなで使える)、誰にでも平等にアクセスできる(非排除性)(みんなが利用できる)ような財

準公共財

- 非競合性と非排除性のいずれかの条件を満たす財をいう。
 - 共有財：天然資源などのように、非排除性の条件は満たしているが、ある人が使えば消費量が減るため競合性はあるような財を言う。
 - クラブ財：映画などのように、非競合性の条件は満たしているが、お金を払わないと見られないため排除性はあるような財を言う。

公共財：非競合性と非排除性の原因

- 非競合性の原因

- 資源が豊富であり、供給が圧倒的に需要より多い
- 資源の利用量が少なく、需要が非常に少ない

- 非排除性の原因

- 受益者の特定が困難
- 対価を徴収するためのコストが膨大
- 受益者の特定が困難で徴収コストが膨大なため、対価の徴収ができない

コモンズ（共有地）の悲劇の問題

- 共有の牧草地のように、資源に限りのある共有資源に利用の制限がないような状況下で同時に多数の人が資源を利用すると資源の枯渇を招いてしまうという悲劇
- このような悲劇は共有地がオープンアクセス（利用が自由）であるという非排除性の正確をもつからである。

コモンズの悲劇の例

- 牧草地に複数の農民が牛を放牧する際、牧草地には限りがあるにも関わらず、農民は競って自身の保有する牛を牧草地に放ち、やがて牧草地が荒れ果て、農民自身にも被害が及ぶことになる。
- 山林の共有地も森林資源利用の制限がなければ、一部の人の過剰伐採により資源枯渇につながる。
- 漁業権が設定されていない漁場では、誰でも漁ができるため、魚が枯渇するまで漁が行われ、しまいには漁師自身にも被害が及ぶことになる。

コモンズの悲劇の回避方法

- 資源に関する所有権の設定。
 - 私的所有権の付与
 - 公的所有権の付与
- 資源へのアクセスに対して規制を設ける。
 - 排除性があるようにする
- 資源を利用する量に規制を設ける。
 - 生産性を落とす規制
 - 例 禁漁期間や漁具を制限する。

地域限定の公共財

- 市民体育館、市民プール、市民図書館などのように地域税を納めた一定の住民にしかサービスを受けられないような公共財をローカル公共財という。
 - 会員制のゴルフやテニスクラブのような会員限定のサービスといったクラブ財もローカル公共財の一種である。

フリー・ライダー (free rider) の問題

- 公共財には非排除性という性質があるため、お金を出し合って財やサービスを提供しようというインセンティブが働かない。
- 防衛、警察、消防など多くの公共サービスは税金を基に提供されているが、税金を払わない人でも公共サービスの恩恵は受けられる。



多くの人々が共同で支払うことで成立しているようなサービスを無料で利用しようとする行為をフリー・ライド (free ride: タダ乗り)、そういう行為をする人々のことをフリー・ライダーという。

フリー・ライダー問題の解決方法

- サービスを無償で政府が提供する。
- 負担費用を支払わない物には罰則を課す。
- 民間に売却するなど私的化することで、サービス利用には費用が発生するようにする。
 - 財・サービスに関する利用権を設け、一定の金額を負担しないものには財・サービスを利用できないようにする。

公共財を全て私的化して良いのか？

- アメリカのテネシー州では、町の消防署が私的化され、消防署にかかる費用を市民が負担しないと家が火事になった場合でも消防士が火を消さないといった問題が起こっている。
– この点についてどう思うか？

経済学における公共財の最適供給

- 公共財一単位を提供するための追加的な費用(公共財の社会的限界費用)が公共財一単位の増加によって人々が受ける便益の総和(社会的限界便益)に等しくなるようなレベルを供給する。



社会的限界費用 = 社会的限界便益